

殺して了ひたい程に思つたのですが、今ぢやもう、そんな心は無くなつて、昔よりも、もつと大切なあなたになりました。酒も煙草も斷つて、あなたのおつしやるやうに、段々昔のカチューシャに戻りかけて來たのも、みんな其のためですよ。

ネフリユドフ カチューシャ！ カチューシャ！

マスロワ それで時々は、ひよつとかすると、あなたのお言葉通り夫婦になつて、楽しい日が送れるものかと、己惚れてゐたこともありましたが、それは私の料見ちがひでした。一度汚れた身は、傍がそんな事をさせません。あの病院の事があつてから、私はふつ／＼己惚れの夢なんか見ないことにしたのですよ。

ネフリユドフ あれは私が至らなかつたからだ、どうか許して呉れ。

マスロワ 許すの、許さないのといふ話ぢやございません。私に取つちや、

それがみんな悟りの道になつたのですから、今ぢや誰も怨んぢやゐませんの。

ネフリユドフ ては、今でもお前は私を愛して呉れるか。

マスロワ 愛してゐます。深く／＼愛してゐます。ですから、私、どうしても

此の體であなたと御一緒になることが出來ないのでですよ。私はどんなつらい思ひをしても、あなたのお身に累ひをかけぢやならない。

ネフリユドフ 併しそれは私が承知の上だから、救はれた體に累ひも何もある

譯はないぢやないか？

マスロワ いえ、いえ、いくらあなたは御承知でも、それをさせては私がすみ

ません。これだけは何んな事があつても思ひ切らうと決心したのですから、どうぞ其のまゝにして置いて下さいな。途々も、お目にかゝつて親しくすればするほど執着が残ると思つて、なるだけよそ／＼しくして来たのですよ。

ネフリユドフ お前の志は實にうれしいが、そんなにしてシモンソン君と結婚して、これから後幸福に暮せるだらうか？

マスロワ それはもう心配しないで下さい。あの人はあんな立派な人ですから、私の心はよく呑み込んでゐて、少しもそれを氣にかけませんし、私だつてこれから、眞心をつくしてあの人の仕事を助けて行きます。その内には自然と幸福な日が来るだらうと思ひますの。

ネフリユドフ では是れていよく私の用は無くなるのだね？

マスロワ 随分長いあひだ御親切を受けましたわね。

ネフリユドフ お前とシモンソン君とは、やつぱり長くシベリアに残るつもりかい。

マスロワ はあ、どうせ四五年はゐなくちやならないのですから、出来るだけ長くシベリアに居て、不幸な囚徒のために盡くしてやりたいと思ひます。あなたは何？

ネフリユドフ 私も、一度モスクワへ歸つてから、またすぐ出直して北の方へ行き、そこで一生をあはれな人々のために捧げたいと思ふ。萬事の手筈はモスクワで定めやう。

マスロワ モスクワからこゝまで何のくらゐありませうね？

ネフリニドフ 三千里以上だらうよ。

マスロワ 随分遠く来ましたわね！

ネフリニドフ あゝ、世界の果までもついて来やうと約束したが！

マスロワ それから今夜は復活祭でしたね？ あの時から十年のあひだに、随

分變つた所で變つた復活祭をしますこと！

ネフリニドフ 十年のあひだにねえ！ そして今夜が私たち二人の永劫の別

れになるのだ。そして別れくに新しい生涯に這入るのだ……私は是をお前

に紀念として上げやう。同宿したイギリスの紳士が呉れたバイブルだがね、

ゆふべ私が偶然明けて見たところにするしがつけてある。馬太傳の十八章だ、

ちよつと讀んで御覽。

マスロワ (書物を取つて燈火にすかして)「其のとき、多くの弟子はイエスに

来たつて曰はく、天國に於いて最も大なるものは誰れぞや？ イエス、幼

子と呼び、彼等の中に置きて曰はく、我まことに爾曹に告げん、爾曹心を改

めて幼子の如くならずんば、天國に行くことを得ず、凡そ此の幼子の如く自

ら謙下るものは、天國に於いて最も大なるものなり。」

ネフリニドフ さう！ ぢや、これでお別れにしやう。もうすぐ十二時だ。さ

やうなら(言ひながら、カチューシャを抱き昔のやうに唇に接吻しやうとする

のを、カチューシャ額で受ける、長い接吻)

(この時遠くの寺で復活祭の鐘の音が聞こえる。ネフリニドフ驚いたやう

に「キリストは蘇りたまへり」と言つて離れる)

ネフリユドフ ぢや御機嫌よう、カチューシャ！（言つてすたくと逃げるやうに並樹向ふの道へ出る）

マスロワ （見送つて）さやうなら、あなたも御機嫌よう！

（ちよつと間を置いて鐘また鳴る、小屋及テントの中から「キリストは蘇りたまへり」といふ聲が幾つか聞こえる。）

マスロワ （淋しくこちらへ向き直つて）「キリストは蘇りたまへり」（沈んで言ひながら次第に頭を垂れる）

幕

大正三年三月十四日印刷  
大正三年三月十四日發行

（定價金七拾錢）



脚 本 復 活  
不 許 復 製

脚 色 者 島 村 瀧 太 郎

發 行 者 佐 藤 義 亮

發 行 所 東 京 市 牛 込 區 矢 來 町 中 の 丸 五 十 八 番 地  
新 潮 社

電 話 ( 番 町 ) 二 三 三 三 番  
振 替 ( 東 京 ) 一 七 四 三 番

印 刷 所 東 京 市 御 田 區 榮 土 代 町 三 丁 目 一 番 地  
島 連 太 郎  
三 秀 會

近代名著文庫

ダンヌンツイオ作

第一編 死の勝利

生田長江氏譯(第七版)

總洋布最上製 定價一圓四錢十稅

世界的最大傑作の邦譯 近代名著の粹を集めて新文藝に志ある人に薦む

アルフォンヌ・トオデエ作

第二編 サフオ

武林無想庵氏譯(第四版)

總洋布最上製 定價九錢五錢十稅

「ちよいとさア、こちらをお向きなさいッては、然ゆるが如き瞳にこめたる彼女の魅力より何人か通れ得べき。彼女は老いを知らざる妖姫の美しさと共に能く知らざる彼女の淫靡を有せり。あらゆる人間の美を一つの體に集めたる彼女が、又あらゆる人間の愛慾を一つの心に集めたる彼女が、サフオの名に驅はれたる此南歐の唄女の戀物語よ。東方の若き人々の胸の血を躍らすべく、今こゝに麗らされたり。燈火花の如き春の宵のキス、秋雨冷たき樹陰の哀別のすゝり泣き、濃艶を極めたる幾情景は浪漫的の甘き夢を唆のかすものあるべし。

▲報知新聞曰く、近時外國文藝の翻譯せらるゝもの多しと雖も概ね寥々たる短篇に過ぎず、「死の勝利」は、近代文學の精粹として、その名は夙に我文壇に喧傳せられたるもの、熱烈なる戀愛を描くに、華麗なる文章を以てし、而も深刻なる近代人の苦悶を背景として、性慾の衝動、犯罪の動機、兩性の間に横ばる人間の暗黒面は、殆ど正視するに堪へざるの露骨と鋭敏とを以て寫し出さる。而して譯筆最も精緻、よく原作の氣分を髣髴し得て遺憾なきに近し、勢頗る美を極む。

近代名著文庫

オスカアワイルド作

第三編 遊蕩兒

本間久雄氏譯(第二版)

總洋布最上製 定價一圓四錢十稅

世界的最大傑作の邦譯 近代名著の粹を集めて新文藝に志ある人に薦む

ツルゲエネフ作

第四編 煙

大貫品川氏譯(新刊)

總洋布最上製 定價一圓四錢十稅

「煙」一巻、是れ實にツルゲエネフ獨得の哀切悲痛の戀物語也。零落せる貴族の娘と、若き大學生との間に結ばれたる情思を經さなし、露西亞の新時代を描ける傑作にして、飽迄も妖艶にして、日に驕る排禦票の如く常に榮華の夢に酔はんとするイリナ。敬虔、可憐、野菊の如くにつ、まじきタチアナ。作者ツルゲエネフの女性描寫は、此二女性に得意の限を盡くせる也。情熱的にして沈鬱、考へ深きリトヒノフの悲哀と苦悶とは、わが新時代の青年の何人とも、よく共鳴せざるを得ざる可し。譯筆亦稀に見るの圓熟と精妙さを示せり。

近代文學の一大異彩として推稱せらるゝオスカアワイルドの傑作『ドリアン・グレイ』を邦語に譯して『遊蕩兒』と名づく、麗治妖麗の一貴公子を主人公として、其享樂感傷の生活を心ゆくばかりに描き盡くせるもの。作者が鬼才を恣にする巧緻の筆を以てし、字々珊瑚を彫り匂々眞珠を綴る。そこに美しき夢覺の影さ、あやしくも人を酔はしむる美酒の高き香り、あらん。近代生活の産める最も複雑なる人生味と藝術味と、必ずや癡等近代人の胸に強く共鳴するものありて存すべきを疑はず。敢て一本を薦むる所以也。

近代名著文庫

アルチバアセフ作

第五編

サアニン

中島清氏譯(第二版)

總洋布最上製 定價壹圓六錢拾包料貳錢

近時頻出する翻譯文學の中、實に於いて最も於いて最も注目すべきは中島清氏の譯に成れるサアニン也。他にも同じき譯あれど此方は一字を増減せざる完譯也。原作者は露國の作家アルチバアセフの代表作にして、男女學生の戀愛を中心として大膽に性慾を描けるが中に、作者の新道徳觀を寓せる物にして、露國學生界を風靡せる所謂サアニズムの宣言書とも云ふべきもの也。譯筆は頗る老練、殊に原著と比して精確、殆んど讀すべきの點あるを見ず、近來の好譯書也。裝幀は例によりて華麗也(東京毎日新聞評)

世界的最大傑作の邦譯 近代名著の粹を集めて新文藝に志ある人に薦む

ドストエーフスキー作

第六編

虐げられし人々

昇曙夢氏譯(近刊)

總洋布最上製 定價壹圓四錢拾包料小

原著者が流刑四年に亘る苦役の後、その深刻なる經驗と博大なる同情とを傾注して、世の虐げられたる人々の隠れたる悲慘の歴史を描ける千頁に近き大作にて、自らの幸福を失へる女。其變化極まりなき運命の軌奇を驚くせる物語は、必ず讀者をして悲嘆と同情との涙を絞らしむべく、露人は聖書と共に同情の福音として今に愛讀措かざる所以也。譯者は此の作が我が邦人の胸に共鳴するの多きを思ひ、特にドストエーフスキー紹介の第一着歩として此代表作を選び、約半年に亘る努力を傾注して此の權威ある翻譯を完了せり。

オスカア著

獄中記

本間久雄氏譯

第五版

▼定價四拾五錢  
▼郵送料四錢

オスカア著

警句集

生方敏郎氏譯

第三版

▼定價四拾錢  
▼郵送料四錢

イフセン作

鴨

森田草平氏譯

第三版

▼定價六拾錢  
▼郵送料六錢

チエホフ作

櫻の園(附)叔父ワニヤ

瀬沼夏葉女史譯

新版

▼定價六拾錢  
▼郵送料六錢

内田魯庵氏  
宮田修氏  
大杉秋登氏  
大杉榮氏  
序

警句集  
女と惡魔

安成一郎氏譯

最新刊

▼定價四拾錢  
▼郵送料四錢

島崎藤村氏作

綠蔭叢書 一編 破戒

第九版  
紙數五百八十頁  
定價八十錢  
郵送料 八錢

著者が長篇の第一作にして、新文藝の先驅をなせるもの。丑松の悶え、お志保の嘆き、ある特殊の階級を描いて社會問題に觸れ、信濃の地方色を鮮かに寫して郷土藝術の匂ひ豊也。此一篇の爲めに著者は、三年間の勞苦と困厄とを拂ひし事實に見ても、その尋常一様の作品に非ざるを知るべき也。

綠蔭叢書 二編 春

第四版  
紙數六百頁  
定價九十錢  
郵送料 八錢

これ、著者が青春の思ひ出を描けるものにして、「文學界」當時の浪漫的運動の真相は遺憾なくここに活寫せらる。戀と涙と、憧憬と苦悶と、通篇六百頁、これ客觀化せられたる一大詩篇也。熱烈なる詩人の情緒を、冷厳なる藝術家の筆を以て描ける所に、本篇の特色は存する也。

綠蔭叢書 三編 家 (全二冊)

第三版  
總紙數九百頁  
定價七十五錢宛  
郵送料 八錢宛

本篇は、明治の年代が有せりし文藝の中にて、最も偉大なるもの也。描く所二大家族の二十有餘年に亘れる歴史にして、其嚴肅、一絲紊れざる主觀は、精到、一毫も疎にせざる描寫と相待ちて、渾然また森然たる趣をなす。幾波瀾、幾情景、凡そ人間の悲喜哀歡は集りて悉く此裡に在る也。

綠蔭叢書 四編 微風

第二版  
紙數六百頁  
定價七十五錢  
郵送料 八錢

熱き地の息に混じて涼しき微風は通ひ来る。斯くも複雑無條理にして矛盾に満たされたる、殆んど名狀し難き生涯は作者をして本書の創作に筆を執らしめたりと云ふ。收むる所『食後』以降最近の作。短篇の集なりと雖も、中に某夫人に與へたる『幼き日』の如く、百三十頁を超えたるものあり。

徳田秋聲氏作

小形總洋布製美本 第七版 價五拾五錢 郵送料四錢 徴

明治年間に發達せる自然派藝術の最頂點に達したるものは、實に此の一篇なり。此一篇は、ひとり秋聲氏一代の傑作なるのみならず、明治文壇の主流が深く湛えて淵をなせるものとして、實に新文壇の代表的産物なり。

小形總洋布製美本 第二版 價五拾五錢 郵送料四錢 足跡

本書は『徴』の前編とも稱すべきものにして、早稲田文學記者は、實に於いて自然性を、形に於いて客觀性を十分に具有した、眞に充實した作品として、明治文壇稀有の大作たることを斷言するに憚らない、と激稱せられたり。

小形總洋布製美本 新刊 定價五拾錢 郵送料四錢 爛

遊女あがりの年増と、其縁續きの女學生と、其の夫なる淫蕩の一紳士とを主要なる人物として紛糾錯綜せる性慾生活を描けるもの。紅飛び緑亂るゝ人生を寫すに、作者一流の嚴肅沈痛なる主觀を以てせる氏獨特の傑作也。

小 説 集 誓 田村俊子 著

小形總洋布製美本 定價六拾六錢 郵送料六錢

小 説 集 廢墟 小川未明 著

小形總洋布製美本 定價七拾八錢 郵送料八錢

ニイチエ著 森鷗外氏譯 生田長江氏譯

# ツアラトウストラ

(版三)

▼總洋布天金函入美本  
▼定價 金貳圓參拾錢  
▼小包料 金拾貳錢

本書はニイチエ一代の心血を凝ぎたる代表的作品を以て見るべきものにして、彼の深刻にして嚴烈悲壯なる詩歌や哲學や宗教や悉く收めて其中に在り。之を譯するは即ち此の文豪の一切を傳ふるものにして、且つ此文豪を通じて複雑なる近代思想其のものの精髓を傳ふる所以也。譯文の莊重森嚴なるは、世既に定評あり。

アーサー・シモンズ著 岩野泡鳴氏譯

# 表象派の文學運動

(版新)

▼總洋布天金最美本  
▼定價 金壹圓  
▼郵送料 金八錢

エーレンを中心として初期デカダンの諸詩人生活より、神祕派のメテリックに至る、備蘭西表象主義の文學的、哲學的、宗教的運動を評論せるもの。我が國に於ても、新思想界有識者の虎の巻となせる書也。今泡鳴氏が異常なる苦心によりて、邦譯を公にするを得たり。卷末、周到なる索引を附す。

# 相馬御黎明期の文學

(版再)

▼特製金文字入美本  
▼定價 金八拾五錢  
▼小包料 金八錢

宗教の權威地に墜ち、教育の效果日に擧らざる今の時代に於いて、文學のみ獨りよく人心の奥底を化す。新らしき文學の研究は、同時に新らしき生活の研究也。新生活の熱烈なる要求を根底として新文學を研究せる此書は、蓋し最も刮目すべき時代の烽火たらずんばあるべからず、新らしき生活の曙に憶るゝ人に之を捧ぐ。



338  
280

終

